

令和7年度 東我孫子中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

令和7年度 東我孫子中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)		平均IRTスコア	
			国語	数学	国語	数学	理科	
3年	学校	137	46	43	11.1	16.2	453	
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2	489	
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6	503	

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3年	学校	138	58.0	44.4	52.5	40.5	43.9	9.6	8.8	12.8	13.2	11.8
	大阪市	—	64.8	51.5	54.3	46.5	54.4	6.1	5.8	11.1	9.4	6.5
9月2日	大阪府	—	64.2	51.2	53.9	46.0	53.2	6.8	6.5	12.1	11.0	7.4
2年	学校	117	61.5	38.2	58.4	48.6	51.0	8.2	7.0	8.5	4.6	8.0
	大阪市	—	65.2	45.0	56.0	47.9	52.4	6.6	5.6	10.3	4.2	6.9
1月14日	大阪府	—	64.5	44.3	55.0	46.7	51.8	7.3	6.3	11.7	5.0	7.6
1年	学校	128	60.0	52.0	62.6	65.4	59.9	12.5	4.3	6.8	4.1	6.0
	大阪市	—	63.3	58.3	57.6	63.0	66.5	9.1	3.0	7.6	3.7	4.1
1月14日	大阪府	—	63.1	—	56.7	—	65.2	10.2	—	8.8	—	4.9

※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は化学的領域を選択

※ 2年生の社会はA問題を選択

※ 3年生の理科はB問題を選択

3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年 実施月日		生徒数 (人)	読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと
			【リーディング】	【リスニング】	【ライティング】	【スピーキング】
			(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)
3年	学校	121	102.5	100.9	107.0	88.6
10月2日	大阪市	—	117.4	110.2	146.4	98.4

4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力 (kg)	上体 起こし (数)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトル ラン (回)	持久走 男子1500m 女子1000m (秒)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
	145										
2年 男子	学校	26.88	32.05	40.13	56.11	88.07	-	7.87	198.48	23.92	45.92
	大阪市	28.65	26.89	43.47	51.80	80.14	425.49	8.06	195.02	20.28	41.69
	全国	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	409.25	8.00	197.51	20.74	42.20
2年 女子	学校	21.53	23.28	42.51	49.74	61.72	-	8.49	169.93	13.65	51.25
	大阪市	23.12	22.70	46.32	46.59	53.12	318.64	9.03	166.76	12.20	48.14
	全国	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	309.66	8.97	166.44	12.43	47.58

令和7年度 東我孫子中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

●全国学力・学習状況調査の結果を全国の平均正答率(%)と比較すると、国語(-8.3)、数学(-5.3)、大阪市平均と比較すると、国語(-2.3)、数学(-2.3)となっており、両教科とも下回った。無回答率(%)においては、全国平均と比較すると、国語(+4.4)、数学(+5.6)、大阪市平均と比較すると、国語(+4.3)、数学(+5)となっており、両教科とも高い無回答率となった。

生徒質問紙の結果においては、「はじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に最も肯定的な回答をした生徒は全国平均より高かった。一方、「朝食を毎日食べていますか」「自分にはよいところがあると思いますか」「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」は全国平均を下回っており、特に、「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」については、全くないと回答した生徒が約60%おり、学習習慣・読書習慣に大きな課題がある。

●中学生チャレンジテスト(3年生)の結果を大阪府の平均正答率と比較すると、国語(-6.2)社会(-6.8)数学(-1.4)理科(-5.5)英語(-9.3)となっており、数学以外の教科は大きく下回った。特に英語は府平均との差が大きくなっている。無回答率も全教科で、大阪府平より多くなっている。普段の授業の様子からも学習に対する意識に課題がある。

●3年大阪市英語力調査(GTEC)の結果を大阪市の平均スコアと比較すると、リーディング(-14.9)リスニング(-9.3)ライティング(-39.4)スピーキング(-9.8)となっており、特にライティングのスコアが著しく低い。「書くこと」に関して課題がみられることから、普段の授業から「書くこと」に関して、質・量ともに増やしていく必要がある。

●中学生チャレンジテスト(1年生・2年生)・中学生チャレンジテストplus(1年生)の結果を大阪府・大阪市の平均正答率と比較すると、1年生では国語(-3.1)社会(-6.3)数学(+5.9)理科(+2.4)英語(-5.3)となっており、数学・理科において大阪の平均正答率を上回った。無回答率も数学では大阪府の平均より少なく結果に表れている。また2年生では国語(-3.0)社会(-6.1)数学(+3.4)理科(+1.9)英語(-0.8)であり、1年生と同様に数学・理科で大阪府平均を上回った。無回答率も数学と理科で大阪府の平均より少ない結果となった。教科によって学力差が表れており、学力の定着の差に課題がある。

●全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を全国平均と比較すると、男女ともに回ったものが6種目、下回ったものが2種目であった。体力合計点は男子が+3.72、女子が+3.67であり、全国平均を大きく上回る結果となっている。種目別に見ると、下回ったのは男女とも握力と長座体前屈で、筋力と柔軟性に課題がみられた。

【今後に向けて】

●学力の向上に向けては、授業研究に引き続き注力し、各教科指導において、「主体的・対話的で深い学び」を目指し、ペアワークやグループワークを積極的に取り入れるなど指導法の研究や工夫を進めていく。また、一人一台端末や各教室のプロジェクターや大型液晶モニター等のICT機器の活用を推し進め、より分かりやすい授業を構築していく。また、習熟度別授業、分割授業、TTなどを活用した一人ひとりに寄り添った個に応じたきめ細かい指導も積極的に進め、確かな学力の醸成と生徒たちの意欲の向上を図っていく。また、国語科だけではなく、他の教科や日常生活の中での「文章」を書くこと、自分の考えをまとめて発表することなどの言語力を高める取り組みを工夫するとともに、問題を正しく理解するだけでなく、与えられた資料(文章・図・表)を正確に素早く理解し、それに自分の知識を統合させて解答できる力を身につけさせるようにする。また、「早寝・早起き・朝ごはん」や「家庭学習」など、基本的な生活習慣の育成のため、教育相談や保護者懇談、各通信などの活用を図り、保護者との連携をより一層強めることで、教育の向上に努める。

●体力の向上に向けては、保健体育科の授業では、生徒が真剣に授業に取り組み、記録の向上に挑戦するように引き続き指導していく。また、毎時間の授業において、基礎的トレーニングを取り入れるなど体力・運動能力の向上を目指していくようにする。体育的行事では、体育大会や各学年でのスポーツ大会を通して、各クラスが学級対抗での優勝を目指すなど、運動することの喜びや意義を感じながら体力向上に取り組める環境をさらに整えていく。部活動においては、学級担任と部活動顧問との連携を密にし、生徒たちが部活動へ積極的に参加するように働きかける。

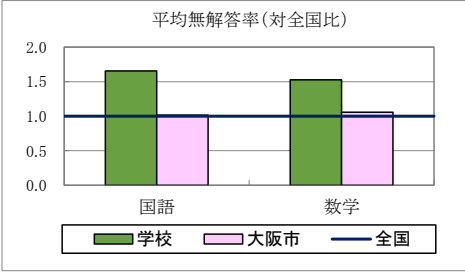
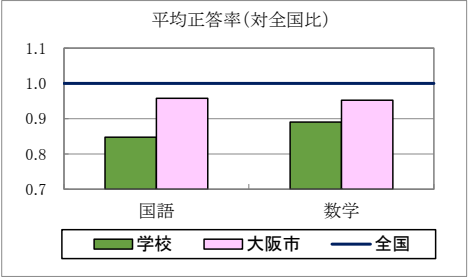
令和7年度 東我孫子中学校のあゆみ
 —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	46	43
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	11.1	16.2
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6

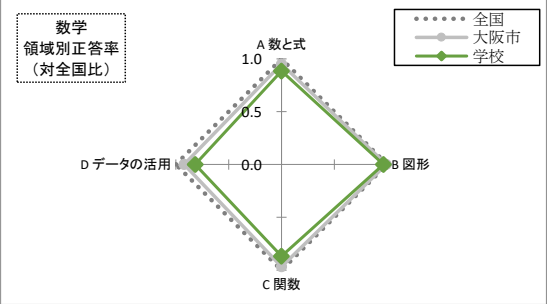
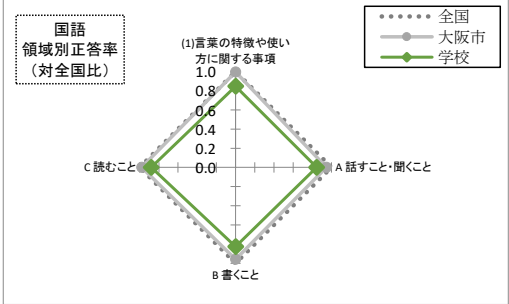
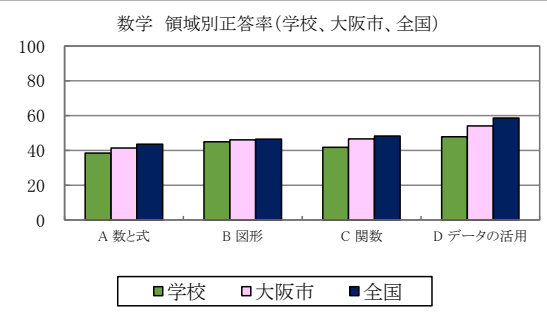
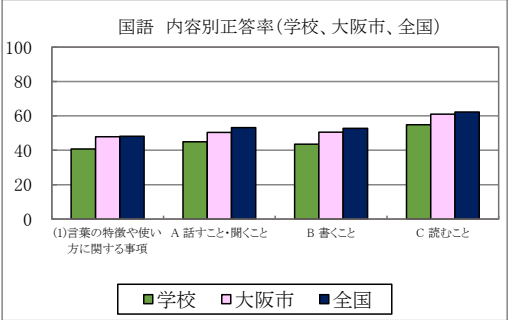


【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	40.7	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に関する事項	0			
(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	45.0	50.4	53.2
B 書くこと	5	43.6	50.6	52.8
C 読むこと	3	54.8	61.0	62.3

【 数 学 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	38.5	41.4	43.5
B 図形	4	44.9	46.1	46.5
C 関数	3	41.8	46.6	48.2
D データの活用	3	47.9	54.0	58.6

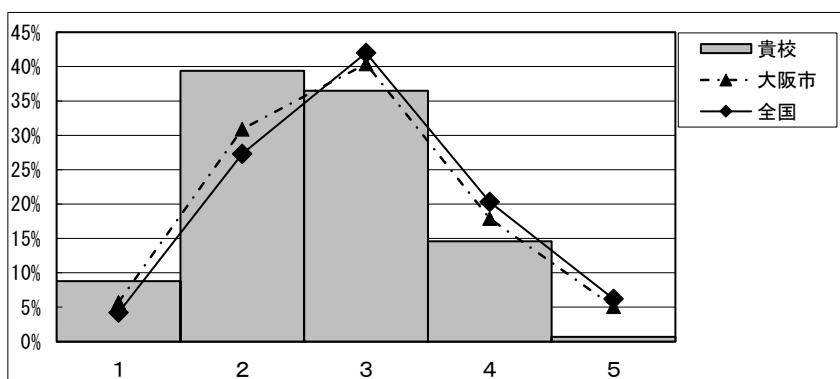
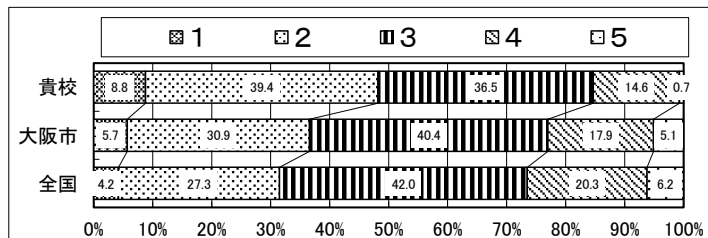


令和7年度 東我孫子中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	453
大阪市	489
全国	503



令和7年度 東我孫子中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

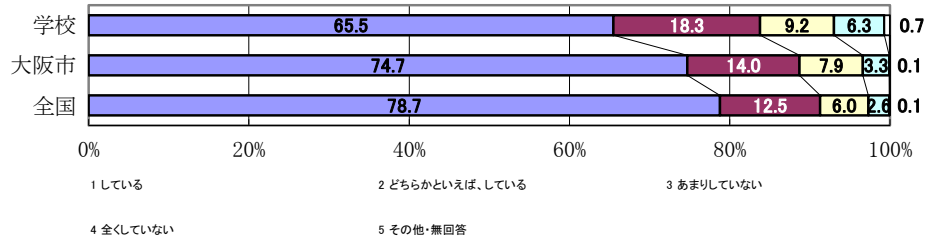
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

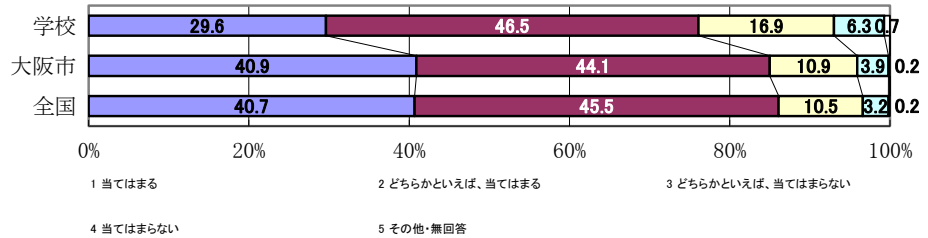
1

朝食を毎日食べていますか



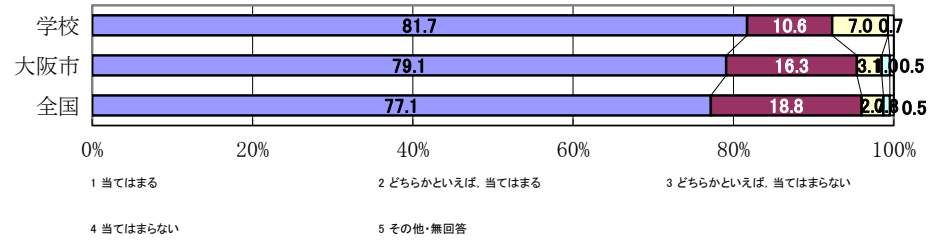
5

自分には、よいところがあると思いますか



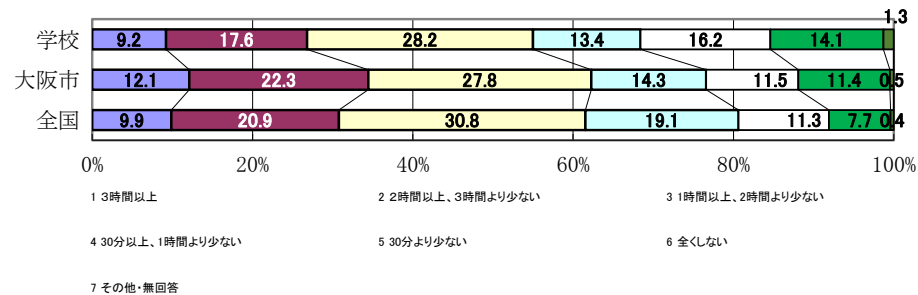
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)

